



# 富山大学学報

第77~79号 (昭和41年4月—6月)

## 目次

関係法令	1
国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 (抜粋)	3
国立学校設置法施行規則の一部を改正する省 令(抜粋)	3
国立大学の学科及び課程並びに講座又は学科目に 関する省令の一部を改正する省令(抜粋)	3
学内規則	
富山大学における予算執行職員の補助者の官職指 定に関する内規の全部改正	4
富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部改正	6
富山大学文書決裁規程の一部改正	7
諸会議	7
人事異動	7
学内諸報	11
昭和41年度入学式	11
昭和41年度大学院入学式	12
科学教育研究室入学式	12
各種委員会委員	13
永年勤続者の表彰	13
第12回大学祭	13
附属小学校竣工式	14
北信地区国立大学図書館協議会	14
故黒田善太郎翁追悼法要	14
日本薬学大会開催	14
谷岡静雄事務長の逝去	15
職員消息	15
主要日誌	16

## 関係法令

(官報掲  
載月日)

法律	
47 文部省設置法の一部を改正する法律	4. 5 号外40

48 国立学校設置法の一部を改正する法律	〃
53 義務教育諸学校施設費国庫負担法の一部を 改正する法律	4. 18
67 国家公務員災害補償法の一部を改正する法 律	5. 9
81 郵便法の一部を改正する法律	6. 8
86 国民の祝日に関する法律の一部を改正する 法律	6. 25 号外78
89 内閣法の一部を改正する法律	6. 28 号外79
98 審議会等の整理に関する法律	6. 30 号外81
政令	
110 国立学校設置法施行令の一部を改正する政 令	4. 5 号外40
111 国立大学の大学院に置く研究科の名称及び 課程を定める政令の一部を改正する政令	〃
114 予算決算及び会計令の一部を改正する政令	4. 11
124 義務教育諸学校施設費国庫負担法施行令の 一部を改正する政令	4. 18
128 所得税法施行令の一部を改正する政令	4. 22
136 文部省組織令の一部を改正する政令	4. 30
146 電子工業振興臨時措置法施行令の一部を改 正する政令	5. 12
177 小包郵便物料金令の一部を改正する政令	6. 8
187 予算決算及び会計令等の一部を改正する政 令	6. 13
188 公共企業体等労働関係法の一部を改正する 法律等の一部の施行期日を定める政令	6. 13 号外特2
210 理科教育及び産業教育審議会令	6. 30 号外81
211 学徒厚生審議会令等を廃止する政令	〃
府令	
23 放射性同位元素等による放射線障害の防止 に関する法律施行規則の一部を改正する総 理府令	5. 12 号外54
省令	
〔文部省〕	
20 文部省設置法施行規則の一部を改正する省 令	4. 1 号外37
22 国立学校設置法施行規則の一部を改正する 省令	4. 5 号外41

23 国立大学の学科及び課程並びに講座及び科 学目に関する省令の一部を改正する省令	〃	する訓令	4. 19
24 国立大学の大学附置の研究所の研究部門 に関する省令の一部を改正する省令	〃	12 文部省所管物品管理事務取扱規程の一部 を改正する訓令	〃
25 文部省所管に属する物品の無償貸付及び譲 与に関する省令	4. 12	13 文部省所管国有財産取扱規程等の一部を改 正する訓令	〃
26 義務教育諸学校施設費負担法施行規則等の 一部を改正する省令	4. 18	14 文部省会計事務取扱規程の一部を改正する 訓令	〃
27 文部省設置法施行規則等の一部を改正する 省令	4. 30	15 文部省所管旅費規則の一部を改正する訓令	5. 16
29 義務教育費国庫負担法第2条但書の規定に 基き教職員給与費等の国庫負担額の最高限 度を定める政令施行規則の一部を改正する 省令	4. 30 号外52	16 文部省会計事務取扱規程の一部を改正する 訓令	〃
32 日本学校安全会法施行規則の一部を改正す る省令	〃	17 文部省債権管理事務取扱規程の一部を改正 する訓令	〃
〔大蔵省〕		18 文部省内部部局文書処理規程の一部を改正 する訓令	6. 17
25 国家公務員共済組合法施行規則等の一部を 改正する省令	4. 1 号外38	19 文部省内部部局文書決裁規程の一部を改正 する訓令	〃
40 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正 する省令	6. 17	20 文部省債権管理事務取扱規程の一部を改正 する訓令	6. 30
規 則		21 文部省所管物品管理事務取扱規程の一部を 改正する訓令	〃
〔人事院〕		告 示	
9-6 俸給の調整額の一部を改正する規則	4. 2 号外39	〔文部省〕	
9-30 特殊勤務手当の一部を改正する規則	〃	174 昭和41年大学入学資格検定の施行期日場所 および出願の期限を定めた件	4. 1 号外37
9-2 俸給表の適用範囲の一部を改正する規則	4. 6	175 教育免許状授与の所要資格を得させるため の課程として認定した件	
9-8 初任給、昇格、昇給等の基準の一部を改 正する規則	〃	181 国立の義務教育諸学校の災害共済給付契約 に係る児童又は生徒についての共済掛金の 額のうち、その保護者等から徴収する額を 定める等の件	4. 2 号外39
8-12 職員の任免の一部を改正する規則	4. 13	182 昭和41年度の司書及び司書補の講習を大学 に委嘱した件	4. 9
9-17 俸給の特別調整額の一部を改正する規則	4. 16	232 日本育英会施行令第19条第3項第7号の試 験所及び研究所として指定した件	5. 4
16-0 職員の災害補償の一部を改正する規則	4. 22	239 文部省共済組合運営規則の一部を改正する 件	5. 14
9-31 隔遠地手当の一部を改正する規則	5. 18	244 昭和41年度社会教育主事講習を行なう大学 等を告示	6. 3
9-6 俸給の調整額の一部を改正する規則	6. 4	249 昭和41年度学校図書館司書教諭講習実施要 項を定める件	6. 10
9-22 暫定手当の一部を改正する規則	6. 4 号外65	〔大蔵省〕	
9-30 特殊勤務手当の一部を改正する規則	〃	50 昭和41年分の予算について、支出負担行為 の実施計画につき大蔵大臣の承認を経なけ ればならない経費を定める件	4. 6
訓 令		〔行政管理庁〕	
〔文部省〕		46 指定統計の結果が公表された刊行物の名称 及び発行の年月日を告示	5. 25
6 人事に関する権限の委任等に関する規程の 一部を改正する訓令	4. 5 号外41		
7 国立大学の附属図書館に置く分館を定める 訓令の一部を改正する訓令	〃		
8 薬剤部を置く国立大学の学部の附属病院等 を指定する訓令の一部を改正する訓令	〃		
9 国立大学又は国立大学の学部置く分校を 定める訓令の一部を改正する訓令	〃		
11 文部省債権管理事務取扱規程の一部を改正			

〔科学技術庁〕

- 4 放射線を放出する同位元表の数量等を定める件の一部を改正する件 5. 12 号外54

官庁報告

- 昭和38年人事院公示第5号の一部改正に関し決定した件（人事院公示3） 4. 2 号外39
- 昭和41年度国家公務員採用試験実施計画（人事院） 4. 7
- 昭和30年人事院公示第1号の一部改正に関し決定した件（人事院公示4） 4. 13
- 昭和41年度国家公務員採用特別初級試験実施計画（人事院） 4. 25
- 昭和41年度国家公務員採用上級（甲種・乙種）試験公告（人事院事務総長） 4. 30
- 昭和41年度国家公務員採用特別初級試験公告（人事院事務総長） 〃
- 第30回薬剤師国家試験合格者（厚生省） 5. 31 号外63
- 学位授与（文部省） 6. 9 号外66
- 昭和41年度国家公務員採用初級試験公告（人事院事務総長） 6. 10 号外67
- 人事院の業務状況報告（内閣） 6. 15 号外69
- 昭和40年度第3、四半期における予算使用状況報告（内閣） 6. 18 号外17

政令第110号（41.4.5・号外40）

国立学校設置法施行令の一部を改正する政令

（抜粋）

国立学校設置法施行令（昭和29年政令第43号）の一部を次のように改正する。

（中略）

別表第1

国立大学の名称	左欄の国立大学に置かれる職員 の定員
富山大学	657人

附則

- 1 この政令は、公布の日から施行する。  
（公布の日昭和41年4月5日）

文部省令第22号（41.4.5・号外41）

国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令

（抜粋）

国立学校設置法施行規則（昭和39年文部省令第11号）の一部を次のように改正する。

（中略）

別表第1

国立大学の名称	学長	教授	助教授	講師	助手	教諭	養護教諭	その他の職員	計
富山大学	1	103	112	7	46	36	1	351	657

附則

この省令は、公布の日から施行し、昭和41年4月1日か

ら適用する。

文部省令第23号（41.4.5・号外41）

国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令（抜粋）

国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令（昭和39年文部省令第3号）の一部を次のように改正する。

第1項中「別表第73」を「別表第74」に改める。

別表第1から別表第73までを次のように改める。

別表第34

富山大学

文理学部

文学科

哲学	国文学
哲学史	英語学
国史学	英文学
東洋史学	ドイツ語学
西洋史学	ドイツ文学
国語学	

理学科

代数学及び幾何学	有機及び生物化学
解折学及び応用解折学	無機及び分析化学
固体物理学	動物形態学
量子物理学	動物生理学
物質構造学	植物生理及び形態学
物理化学	地学

（一般教育等）

哲学	社会学
倫理学	数学
心理学	物理学
歴史学	化学
文学	生物学
音楽	地学
美術	英語
法学	ドイツ語
経済学	フランス語
統計学	ラテン語
政治学	保健体育
地理学	

教育学部

小学校教員養成課程・中学校教員養成課程

国語学	美術理論・美術史
国文学	体育実技
書道	生理学及び衛生学
歴史学	学校保健
地理学	体育理論・体育史
法律学	木材加工

経済学	電気
社会科教育	機械
代数学及び幾何学	食物学
解析学及び応用数学	被服学
数学科教育	家庭管理
物理学	農業
化学	英語学
生物学	英米文学
地学	教育学
声楽	教育史
器楽	教育制度
作曲	教育社会学
絵画	教育心理学
彫塑	発達心理学
構成	

経済学部

経済学科

経済学  
 経済史  
 経済政策  
 財政金融論  
 統計学  
 経済地理学  
 経営学

商学  
 簿記学  
 会計学  
 憲法  
 民法  
 商法  
 社会学

薬学部

薬学科

△薬化学  
 △薬品分析化学  
 △生薬学  
 △衛生化学  
 製薬化学科  
 △薬品物理化学  
 △薬剤製造学

△薬剤学  
 △薬品生物化学  
 △薬品作用学  
 △薬品合成化学

工学部

電気工学科

電気理論  
 電気機器  
 電力工学

電気通信  
 自動制御

工業化学科

有機工業化学  
 有機合成化学

無機工業化学  
 工業物理化学

金属工学科

金属材料学  
 金属加工学

鉄冶金学  
 非鉄冶金学

機械工学科

材料力学  
 機械力学  
 流体工学

熱工学  
 動力熱工学

生産機械工学科  
 切削加工  
 工業計則  
 化学工学科  
 反応工学  
 拡散単位操作  
 (共通学科目)  
 応用物理学

塑性加工  
 制御機器  
 機械的単位操作

備考 △印を冠するものは修士講座である。

附則

この省令は、公布の日から施行し、昭和41年4月1日から適用する。

学内規則

富山大学における予算執行  
職員の補助者の官職指定に  
関する内規の全部改正

富山大学における予算執行職員の補助者の官職指定に関する内規（昭和39年4月1日制定）の全部を改正する。

昭和41年5月4日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学における予算執行職員の補助者の官職指定に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、予算執行職員等の責任に関する法律（昭和25年法律第172号）第2条第1項第9号の規定により富山大学（以下「本学」という。）に置く予算執行職員の補助者の官職及びその事務の範囲を定めることを目的とする。

(官職及び事務の範囲)

第2条 本学に置く予算執行職員の補助者は、次の各号のとおりとし、その指定官職及び所掌事務の範囲は、別表1から別表3までのとおりとする。

- (1) 支出負担行為担当官の補助者
- (2) 契約担当官の補助者
- (3) 支出官の補助者

(命免の記録)

第3条 前条に規定する予算執行職員の補助者の指定官職命免の記録は、予算執行職員の補助者の命免に関する通知（昭和36年10月17日文会総第436号）により、会計課総務係で行なうものとする。

附則

この内規は、昭和41年4月1日から施行する。

別表1 支出負担行為担当官の補助者

部 局	指 定 す る 官 職	事 務 の 範 囲
事 務 局 学 生 部 及 び 各 部 局	会 計 課 長	支出負担行為の全般総括
	会 計 課 課 長 補 佐	会計課長に規定する事項の補助及び支出負担行為担当官印の保管捺印
	会 計 課 総 務 係 長	支出負担行為に係る書類の監査
	〃 司 計 係 長	支出負担行為計画示達に関する事 支負担行為に係る書類の予算上の監査
	〃 出 納 係 長	職員の給与、退職手当、公務災害補償費及び奨学交付金の支出負担行為に関する事 諸謝金及び旅費の支出負担行為に関する事。ただし、学部等の補助者に係る事務を除く。
	〃 用 度 係 長	物品、役務の支出負担行為及び検査に関する事。 ただし、学部等の補助者に係る事務を除く。
	〃 管 財 係 長	財産の買入、市町村交付金の支出負担行為及び検査に関する事。
	施 設 課 長	工事に係る支出負担行為の全般総括、工事設計の委嘱に関する事。
	施 設 課 課 長 補 佐	施設課長に規定する事項の補助 工事設計委嘱の完了検査に関する事。
	施 設 課 企 画 係 長	工事の支出負担行為に関する事。
	〃 工 営 係 長	土木、建築工事の検査に関する事。
〃 設 備 係 長	設備工事の検査に関する事。	
各 学 部	事 務 長	当該学部の支出負担行為の全般総括
	事 務 長 補 佐	事務長に規定する事項の補助
	会 計 係 長	当該学部の諸謝金、旅費、物品、役務（1件30万円以上及び図書を除く。）の支出負担行為及び検査に関する事。
附 属 図 書 館	事 務 長	支出負担行為の全般総括
	総 務 係 長	諸謝金、旅費、物品、役務（1件30万円以上及び図書を除く。）の支出負担行為及び検査に関する事
	整 理 係 長	図書の支出負担行為及び検査に関する事。
	薬学専門図書室 主 任	図書の検査に関する事。
	工学部分館事務主任	図書の検査に関する事。
経 営 短 期 大 学 部	事 務 長	支出負担行為の全般総括
	総 務 係 長	諸謝金、旅費、物品、役務（1件30万円以上及び図書を除く。）の支出負担行為及び検査に関する事。

別表2 契約担当官の補助者

部 局	指 定 す る 官 職	事 務 の 範 囲
事 務 局	会 計 課 長	契約事務の全般総括
	会 計 課 課 長 補 佐	会計課長に規定する事項の補助及び契約担当官印の保管捺印

学 生 部 及 び 各 部 局	会 計 課 総 務 係 長	契約に係る書類の監査
	〃 管 財 係 長	国有財産の契約に関すること。
	〃 用 度 係 長	国有財産以外の契約に関すること。ただし、教育学部生産品の契約は除く。
教 育 学 部	事 務 長	生産品の契約総括
	事 務 長 補 佐	事務長に規定する事項
	会 計 係 長	生産品の契約に関すること。

別表3 支出官の補助者

部 局	指 定 す る 官 職	事 務 の 範 囲
事 務 局 及 び 学 生 部	会 計 課 課 長 補 佐	支出官印の保管及び捺印 その他支出事務の全般総括
	会 計 課 総 務 係 長	支出に係る書類の監査
	〃 司 計 係 長	支出負担行為の確認 支出負担行為差引簿、支払元受高差引簿、支出簿の 記帳に関すること。 支出に関する報告書、計算書及び決算に関すること。
	〃 出 納 係 長	職員の給与、退職手当、公務災害補償費及び奨学交付金の支出決議書案ならびに返納告知書案の作成に関すること。 諸謝金及び旅費の支出決議書案ならびに返納告知書案の作成に関すること。ただし、学部等の補助者に係る事務を除く。 小切手帳（国庫金振替書を含む。）の保管及び小切手の作成（捺印を除く。）ならびに交付、通知に関すること。
	〃 用 度 係 長	物品、役務の支出決議書案の作成に関すること。ただし学部等の補助者に係る事務を除く。
	〃 管 財 係 長	財産の買入れ、市町村交付金の支出決議書案の作成に関すること。
	施 設 課 企 画 係 長	営繕工事の支出決議書案の作成に関すること。
各 学 部	会 計 係 長	当該学部の諸謝金、旅費、物品、役務（1件30万円以上及び図書を除く。）の支出決議書案の作成に関すること。
附 属 図 書 館	総 務 係 長	諸謝金、旅費、物品、役務（1件30万円以上及び図書を除く。）の支出決議書案の作成に関すること。
	整 理 係 長	図書の支出決議書案の作成に関すること。
経 営 短 期 大 学 部	総 務 係 長	諸謝金、旅費、物品、役務（1件30万円以上及び図書を除く。）の支出決議書案の作成に関すること。

**富山大学支出負担行為等事務  
取扱要項の一部改正**

富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部を改正する要項を次のように制定する。

昭和41年5月4日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部

を改正する要項

富山大学支出負担行為等事務取扱要項の一部を次のよう

に改正する。

別表1 支出負担行為書起案分担表の事務局及び附属図書館の起案に係るものの項中「1件10万円以上」を「1件30万円以上」に、「1件10万円未満」を「1件30万円未満」に改める。

附 則

この改正要項は、昭和41年4月1日から施行する。

**富山大学文書決裁規程の一部改正**

富山大学文書決裁規程の一部を改正する規程を次のように制定する。

昭和41年6月10日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学文書決裁規程の一部を改正する規程

富山大学文書決裁規程（昭和38年11月1日制定）の一部を次のように改正する。

別表専決事項中第4項及び第5項の専決者のうち、部局の項の「事務長」を「附属学校長事務長」に改める。

同表中第18項の専決者のうち、事務局の項の「事務局長」を「庶務課長」に改める。

同表中第28項、第31項及び第32項を次のように改める。

「28 削除」

「31 削除」

「32 削除」

同表中第41項を第41項第1号とし、第41項第1号の次に次の2号を加える。

41-2	奨学寄附金及び委任経理金に関すること。	学長	事務局長				
41-3	歳入歳出外現金出納計算書の提出に関すること。	〃	会計課長				

附 則

この規程は、昭和41年6月10日から施行する。

**諸 会 議**

**第1回 評議会**（持廻り）

（議題）

1. 昭和41年度富山大学経済学専攻科学生の入学許可について

**第2回 評議会**（5月6日）

（議題）

1. 富山大学薬学部卒業延期者の卒業について
2. 富山大学大学祭について
3. 学上入学について
4. 大学の管理運営に関する意見（案）について
5. 教養課程の学生に対する助言について
6. 工学部の問題に関する特別委員会の報告について

**第3回 評議会**（6月10日）

（議題）

1. 富山大学文書決裁規程の一部改正（案）について
2. 昭和42年度富山大学大学院薬学研究科学生募集要項について
3. 再入学について
4. 昭和41年度予算配分について
5. 昭和42年度概算要求について
6. 一般教育課程の学生に対する助言活動の実施について

**人 事 異 動**

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 庁
	山 本 篤 司	助教授（文理学部）に採用する	41. 4. 1	文 部 省
教 授 （薬 学 部）	志 甫 伝 逸	薬学部長に併任する	〃	〃
（工 学 部）	上 野 享	工学部長に併任する	〃	〃
（経 済 学 部）	城 宝 正 治	経営短期大学部教授に併任する 経営短期大学部主事に併任する	〃	〃
教 諭 （附属中学校）	永 森 清 太 郎	教育学部附属中学校教頭に併任する	〃	〃
（附属幼稚園）	志 波 和 子	教育学部附属幼稚園教頭に併任する	〃	〃
助 教 授 （文 理 学 部）	中 川 正 之	教授に昇任させる	〃	〃
（教 育 学 部）	松 田 順 吉	〃	〃	〃
（ 〃 ）	深 井 三 郎	〃	〃	〃
講 師 （短期大学部）	藤 本 利 躬	助教授に昇任させる	〃	〃
助 手 （広島大学文学部）	増 田 欣	助教授（教育学部）に昇任させる	〃	〃
会 計 係 長 （文 理 学 部）	酒 井 弘	会計課課長補佐に昇任させる	〃	〃

講師 (新潟大学教育学部)	大塚 恵一	助教授(教育学部)に昇任させる	41. 4. 16	〃
事務局 長	有田 文雄	経営短期大学部事務長事務代理を命ずる (任期は41.6.24まで)	41. 6. 16	〃
〃	有田 文雄	経営短期大学部事務長事務代理を免ずる	41. 6. 25	〃
〃	有田 文雄	経営短期大学部事務長事務取扱を命ずる (任期は41.6.30まで)	〃	〃
助教授 (経済学部)	淡路 憲治	岡山大学(法文学部)助教授に配置換する	41. 4. 1	〃
(薬学部)	松本 弘一	富山工業高等専門学校に配置換する	〃	〃
教授 (文理学部)	柴田 萬年	熊本大学(理学部)教授に配置換する	41. 6. 16	〃
	堀 利秋	事務員(庶務課)に採用する	41. 4. 1	富山大学
	佐伯 信男	技術員(施設課)に採用する	〃	〃
	細野 功	事務員(学生課)に採用する	〃	〃
	麻生 友治	〃	〃	〃
	松丘 健治	作業員(学生課)に採用する	〃	〃
	小西 照泰	講師(教育学部)に採用する	〃	〃
	福田 明夫	助手(教育学部)に採用する	〃	〃
	川腰 巍	教諭(教育学部附属中学校)に採用する	〃	〃
	村田 正義	〃	〃	〃
	五十里 満義	教諭(教育学部附属小学校)に採用する	〃	〃
	木本 武男	〃	〃	〃
	田嶋 毅	運転手(教育学部)に採用する	〃	〃
	安立 準	助手(薬学部)に採用する	〃	〃
	山田 道子	教務員(薬学部)に採用する	〃	〃
	塩田 和子	〃	〃	〃
	高見 春男	薬務手(薬学部)に採用する	〃	〃
	大住 剛	助手(工学部)に採用する	〃	〃
	村田 義信	〃	〃	〃
	伊藤 紀男	〃	〃	〃
	水谷 一樹	教務員(工学部)に採用する	〃	〃
	野村 弘明	〃	〃	〃
	穴田 博	〃	〃	〃
	杉山 毅	〃	〃	〃
	清水 優子	〃	〃	〃
	坂井 徹	〃	〃	〃
	雁田 彰	事務員(工学部)に採用する	〃	〃
	山本 悦子	〃	〃	〃
	谷口 泰一	技術員(工学部)に採用する	〃	〃
	室谷 和雄	〃	〃	〃



	渡 辺 秀 一	〃	〃	〃
	藤 岡 和 典	ガラス工（工学部）に採用する	〃	〃
	角 田 久 雄	臨時用務員（学生課）に採用する	41. 4. 4	〃
	村 中 晴 治	〃	〃	〃
	山 口 雄 啓	臨時用務員（教育学部）に採用する	〃	〃
	牧 洋 子	事務補佐員（工学部）に採用する	〃	〃
	荒 木 美 登 里	〃	〃	〃
	池 永 都	技術補佐員（工学部）に採用する	〃	〃
	竹 内 香 津 子	事務補佐員（庶務課）に採用する	41. 4. 6	〃
	堀 田 吉 太 郎	臨時用務員（教育学部）に採用する	〃	〃
	山ノ下 裕 一	事務員（教育学部）に採用する	41. 4. 9	〃
	高 見 香 司 子	事務補佐員（工学部）に採用する	41. 4. 11	〃
	高 島 仙 次	作業員（学生課）に採用する	41. 4. 15	〃
	相 馬 恒 雄	講師（教育学部）に採用する	41. 4. 16	〃
	田 村 吉 昭	臨時用務員（厚生課）に採用する	41. 4. 18	〃
	谷 口 之 武 男	技術員（工学部）に採用する	41. 4. 20	〃
	坂 本 智 恵 子	事務補佐員（文理学部）に採用する	41. 5. 1	〃
	山 口 泰 光	講師（経済学部）に採用する	〃	〃
	中 田 三 郎	講師（教育学部）に採用する	41. 5. 10	〃
	中 林 和 子	事務補佐員（庶務課）に採用する	41. 5. 16	〃
文 部 事 務 官 （会 計 課）	石 黒 勝 夫	会計係長（経済学部）に昇任させる	41. 4. 1	〃
助 手 （文 理 学 部）	松 本 勝	講師に昇任させる	〃	〃
（工 学 部）	藤 田 宏	〃	〃	〃
（ 〃 ）	時 沢 貢	〃	〃	〃
文 部 技 官 （ 〃 ）	高 山 藤 一 郎	助手に昇任させる	〃	〃
文 部 事 務 官 （教 育 学 部）	高 桑 幸 子	教諭（教育学部附属幼稚園）に配置換する	〃	〃
庶 務 係 長 （教 育 学 部）	吉 田 徳 正	教育学部附属学校事務主任に配置換する	〃	〃
事 務 主 任 （附 属 学 校）	船 見 幸 生	教育学部庶務係長に配置換する	〃	〃
会 計 係 長 （経 済 学 部）	川 原 富 雄	文理学部会計係長に配置換する	〃	〃
文 部 事 務 官 （庶 務 課）	宮 越 一 男	経済学部配置換する	〃	〃
（ 〃 ）	笠 原 昇	会計課に配置換する	〃	〃
（ 〃 ）	武 久 美 子	文理学部に配置換する	〃	〃
事 務 員 （会 計 課）	松 下 義 春	附属図書館に配置換する	〃	〃
文 部 事 務 官 （ 〃 ）	蓮 田 初 枝	薬学部配置換する	〃	〃
（学 生 課）	草 島 幸 雄	庶務課に配置換する	〃	〃
事 務 員 （ 〃 ）	今 江 秀 男	厚生課に配置換する	〃	〃

文部事務官 (厚生課)	御福 富美子	経済学部へ配置換する	41. 4. 1	〃
(〃)	小林 太市	教育学部へ配置換する	〃	〃
(〃)	藤井 政雄	経済学部へ配置換する	〃	〃
(文理学部)	奥野 武則	厚生課へ配置換する	〃	〃
(〃)	榎藤 三枝子	庶務課へ配置換する	〃	〃
事務員	沖野 雪子	工学部へ配置換する	〃	〃
文部事務官 (教育学部)	中田 ふじえ	薬学部へ配置換する	〃	〃
(〃)	田嶋 スミ	経済学部へ配置換する	〃	〃
事務員	横山 正弘	附属図書館へ配置換する	〃	〃
文部事務員 (経済学部)	松下 甚清	薬学部へ配置換する	〃	〃
(〃)	石原 幾久栄	教育学部へ配置換する	〃	〃
事務員	盛田 律子	〃	〃	〃
文部事務官 (薬学部)	扇 谷甚右エ門	文理学部へ配置換する	〃	〃
(〃)	金兵 和子	会計課へ配置換する	〃	〃
(〃)	河内 美代	教育学部へ配置換する	〃	〃
用務員	佐藤 供枝	文理学部へ配置換する	〃	〃
文部事務官 (工学部)	泉 三郎	庶務課へ配置換する	〃	〃
事務員	高島 睦子	文理学部へ配置換する	〃	〃
文部事務官 (附属図書館)	山下 寿和	学生課へ配置換する	〃	〃
(〃)	野尻 義男	教育学部へ配置換する	〃	〃
技能員 (工学部)	西村 昭治	事務員へ配置換する	〃	〃
事務員 (教育学部)	広田 浩	学生課へ配置換する	〃	〃
作業員 (学生課)	松丘 健治	工学部へ配置換する	41. 4. 18	〃
事務員 (庶務課)	堀 利秋	会計課へ配置換する	41. 5. 1	〃
助手 (北海道大学)	小黒 千足	富山大学文理学部助手に転任させる	41. 4. 1	〃
文部事務官 (経営短期大学部)	山本 道弘	会計課へ転任させる	〃	〃
文部事務官 (庶務課)	平岡 幸一	富山工業高等専門学校へ出向させる(庶務係長に)	〃	〃
(会計課)	吉田 茂	〃 (出納係長に)	〃	〃
事務員 (教育学部)	大房 進	経営短期大学部へ出向させる	〃	〃
教諭 (附属中学校)	布村 清太郎	富山工業高等専門学校へ出向させる(助教授に)	〃	〃
文部事務官 (附属図書館)	細川 勝児	金沢大学へ出向させる	〃	〃
事務員 (工学部)	日比野 弓子	岐阜大学へ出向させる	41. 4. 16	〃
文部事務官 (京都大学教育学部)	村田 修身	附属図書館へ転任させる	41. 5. 1	〃
教授 (教育学部)	和田 徳一	昭和41年3月31日限り停年により退職した	41. 4. 1	文部省
(〃)	藤木 二与	〃	〃	〃
(経済学部)	田中文 信	〃	〃	〃

文部技官 (工学部)	松谷和子	辞職を承認する	41. 6. 30	富山大学
文部事務官 (文理学部)	山淵保明	復職した	41. 4. 1	〃
	竹松静代	教諭(教育学部附属中学校)に臨時的に任用する(任期41.9.14まで)	41. 6. 23	〃

## 学内諸報

### 昭和41年度入学式

富山大学第18回並びに同経営短期大学部第8回の入学式は、4月9日(土)午前10時から、黒田講堂で挙行された。

入学式は、本学学部学生810名、経営短大学生95名計905名の新入学生を迎え入れて行なわれ、へき頭、横田学長の次に掲げる式辞があり、引き続き新入学生を代表して中田紀子(教育学部)、放生秀子(経営短大)の両名が答辞を述べて式を閉じた。

### 学長式辞

本日ここに昭和41年度入学式を挙行し、本学各学部計810名と経営短期大学部95名の皆さんを新しく迎えました。

本年度の入学試験の競争率は、本学にあつては平均5.23倍と本学初めての最高記録となり、短期大学部ではこれまた昨年をはるかに上廻り、2.38倍に達しました。きびしい試験を克服して首尾よく入学された皆さんを心から歓迎いたし、同時に御父兄に対しておよこび申し上げます。

本日をもって、皆さんとは氷火く師弟の関係を生じた次第で、私共は何をおいても富山大学という家族の一員として親しく接して参ります。晴れの入門の当初に当り少しく所懐をのべて皆さんの注意を喚起したいと思います。

皆さんの年令層で大学の学業生活にいそむものは二割にも達せず今も昔に変わりなく数少ない恵まれた生活環境にあると申さねばなりません。しかも皆さんはこれから各自の自由意志により決められた専門のコースに向って進まれる訳で今更申すまでもなく学修に対する積極的な心がまえができておられますと確信いたします。

大学は最高度の専門教育を履修するとともに、かたよりのない人間形成を目的とするだけに手をこまぬいて待つものでなくあくまで自身で刈り取るという意欲が必要とされます。

私は、今から45年前の皆さんと同じ時代を回顧しますと勉強が苦しくなると遂、いったい誰のための勉強をやっているのかと勉強が他人事のように思ったことを告白いたします。

これは、まさしく自主性を見失った時で学生時代の一つ

の危機であったと思います。皆さんのこれからの学業生活において若しかかることがあれば冷静に判断し歯をくいしばっても辛抱されるよう必ずや学問研究に理解が深まり、興味自らわき出て自主性を取り戻されることを保証いたします。

以上は、学業に対する大学生の基本的態度とも申すべきでこの外皆さんは将来それぞれの職域、地域に於て指導者の立場におかれることから考えても専門の道とは別にそれと不離一体の形において円満にして高度の教養人になられるよう格段の精進を望みます。

このためには学校が時間で決めた正規の学業の外に課外における自由な持ち時間の活用について、これまた自主的に御工夫を願いたいと思います。即ち課外のクラブ活動に生活協同組合の仕事に、その他過度に陥らぬアルバイト、或は社会の視察見学等に大学人としてふさわしい道を歩まれないものと思います。

皆さんの出身地の県内、県外の比率は6対4で多くの県外の方々を迎えていますので、特に富山県の特殊性を申しのべ、皆さんが人間形成の修練場として当地がいかに地の利を占めているかを簡単に申しのべたいと思います。

富山は北アルプス立山連峰に端を発す百川の流れをもち、古くより水との斗いにて住民は堅忍持久性を養い反面水を利用し農産に励み、富山湾の海産物により繁栄し又配置家庭薬の生産という独特の産業により、いよいよ殷賑を極めました。又近代工業として豊富な水資源を利して発電王国となり、これを基盤として吾国のあらゆる一流工業が集まっています。これらの古代より近代の産業面のみならず文化方面にも古いすぐれた越中文化をもち、特に宗教心の強い土地柄であります。これらにつちかわれた越中人の伝導的性格は独立不羈、勤勉の根性、それに風流文化のかわりを見逃すことはできません。私は、これまで方々を転々といたしましたが、それぞれの土地には長所もあれば短所もありますが、総じて富山には人生行路において非常に大事な要素を数多く発見できます。特に県外の皆さんは郷に入っては郷に従えのたとえの如くこれら富山の美点をたくましく吸収され以て人間完成への道を今のうちより励まれることを望みます。

次に健康のことについてお考え願いたい。

皆さんは今御父兄及び吾々の祝福のうちに大学生になられました。この祝福に今直ちに報いられる一つの道は、これまた自主的判断のもとに身体をいたわり病氣等にならぬことで、小学生に物をいうようですが、存外本学学生に病

気が多いので非常に気になります。学校には皆さんの保険組合があり又健康相談の先生も日を決めて見えています。若い時は何事にも一時的には無理がきく時代ですから呉々も若さを過信することのないよう注意されることを望みません。

以上学修態度、課外における教養、健康の三点についてあらあら申しのべましたが、このあと学生部長さん、また日を改めて一般教養担当責任学部の文理学部長初め各部長さん、短大主事の諸先生から細々とお話がありますから洩れなく、よく聞いて頂いて一日も早く本学学生としての生活が軌道にのって進むことを祈ります。

入 学 者 学 部 学 科 別 内 訳

学 部	学 科	入 学 者 数
文理学部	文 学 科	45(23) 60(16) △1
	理 学 科	
教育学部	小学校教員養成課程	107(83) 50(22)
	中学校教員養成課程	
	養 成 課 程	
経済学部	経 済 学 科	167(3)
薬学部	薬 学 科	△50(37) 2(2) 50(17)
	製薬化学科	
工学部	電気工学科	40 40 40 50 △1 40 40
	工業化学科	
	金属工学科	
	機械工学科	
	生産機械工学科	
	化学工学科	
計		779(201) △4(2)

経営短期	経 営 科	95(18)
大学部	(第2部)	

- 注 1. ( )内は女子で内数  
2. △印は沖縄学生(定員外)で外数

学 内 諸 報

昭和41年度大学院入学式

大学院薬学研究科の入学式は、4月21日(火)午前10時から本部会議室で挙行された。

新入学生は21名で、出身大学学部別及び専攻科目別の数は次のとおり。

出身大学学部別

本学薬学部15名、文理学部2名、福岡大学薬学部1名、日本大学理工学部1名、東邦大学薬学部1名、関西大学工学部1名

専攻科目別

薬化学2名、薬品分析化学1名、生薬学Ⅰ2名、生薬学Ⅱ2名、薬品物理化学2名、薬品合成化学2名、薬剤学1名、薬品生物化学Ⅰ2名、薬品生物化学3名、薬品作用学2名、薬品製造学2名

科学教育研究室入学式

昭和41年度富山大学科学教育研究室入室式は、5月16日午後1時30分から本部会議室において行なわれた。

当研究室は、理科教育を担当する小、中学校ならびに高等学校教諭の指導力強化を目標として文部省の委嘱で開設するもので、本年度入室した研究生及び研究題目ならびに指導にあたる教官は次のとおりである。

学 部	学 科 目	研 究 生			指 導 員	
		勤 務 学 校	職 氏 名	研 究 題 目	職 氏 名	
文理学部	数 学	高岡市東海老坂950 二上工業高等学校	教諭 宮本 敏男	電気計算機のための 数値計算について	教授 田中専一部	
	生物学	富山市赤江町 雄峰高等学校	〃 恒田 清一	魚卵の観察	助教授 堀 令司	
教育学部	理 科	魚津市吉島1934 魚津市立東部中学校	〃 沢谷 孝満	理科の主体的学習法 について	教授 蜷川 栄作	
薬学部	化 学	富山市下飯野 富山東高等学校	〃 中村善之助	薄層クロマトグラフ イーの教材への応用	〃 三橋 監物	

## 各種委員会委員

## ○特別教職課程委員会委員（任期は41.3.1迄）

教育学部長	蜷川栄作		
学生部長	養田実		
文理学部	島崎藤一	小林貞作	
教育学部	酒井康彦	佐々木龍作	
	沢泉重夫	坂井誠一	
	林勝次		
経済学部	新田隆信		
薬学部	野村敬一		
工学部	井上浩		

## ○認定講習委員会委員（任期は43.4.30迄）

文理学部長	高瀬重雄		
教育学部長	蜷川栄作		
学生部長	養田実		
事務局長	有田文雄		
文理学部	守屋獅郎	田中専一郎	
教育学部	玉生正信	酒井康彦	
	佐々亮		
経済学部	新田隆信		
薬学部	酒井立夫	野村敬一	
工学部	若林嘉一郎	宮尾嘉寿	

ただし、薬学部にあつては、任期42.7.31迄

## ○入学試験管理委員会委員（昭和42年度）

学長	横田嘉右衛門		
文理学部長	高瀬重雄		
教育学部長	蜷川栄作		
経済学部長	野崎富作		
薬学部長	志甫伝逸		
工学部長	上野亨		
学生部長	養田実		
文理学部	大島文雄	渡辺義一	
教育学部	沢泉重夫	坂井誠一	
経済学部	三国一義	柴田裕	
薬学部	木村康一	山崎高応	
工学部	井上浩	大井信一	

## ○学寮補導委員会委員（任期は43.6.24迄）

学生部長	養田実		
学生課長	榎本兼二		
厚生課長	若林俊吉		
文理学部	館熙道	田中専一郎	
教育学部	山口政則	見村てい	
経済学部	武暢夫	瀬岡吉彦	
薬学部	山崎高応	大浦彦吉	
工学部	室町繁雄	若林嘉一郎	

ただし、薬、工学部にあつては、任期42.8.31迄

## 永年勤続者の表彰

本学職員表彰規則による本年度の表彰式は、さる5月31日（開学記念日）の午前11時から本部会議室において行なわれ、次の39氏が永年勤続者として表彰された。

## 【勤続35年】

渡辺義一（文理学部）	柳瀬茂光（文理学部）
佐々木龍作（教育学部）	藤森清一（薬学部）
黒坂富治（ 〃 ）	

## 【勤続20年】

竹内豊三郎（文理学部）	藤田信二（庶務課）
小林貞作（ 〃 ）	奥井三郎（会計課）
山崎高応（薬学部）	安守数雄（厚生課）
加藤正（工学部）	竹岡環（工学部）
養田実（ 〃 ）	松原薫（厚生課）
位崎敏男（ 〃 ）	水口妙子（教育学部）
小森典（文理学部）	藤井政雄（経済学部）
坂井昌市（ 〃 ）	河内美代（教育学部）
藤木興三（教育学部）	山出繁（附属図書館）
新田隆信（経済学部）	高井保雄（文理学部）
中川孝之（工学部）	瀬島勝四郎（工学部）
高辻雄三（ 〃 ）	川又忠次郎（厚生課）
中谷秀夫（ 〃 ）	日南田善郎（会計課）
高山藤一郎（ 〃 ）	和田キク（教育学部）
若林俊吉（厚生課）	石田文治（工学部）
松沢義治（工学部）	三上はり（ 〃 ）
若林良吉（庶務課）	坪田卓（ 〃 ）

## 第12回大学祭

第12回を迎えた恒例の大学祭は、5月31日の開学記念日を中心として、同実行委員会主催のもとに次のとおり多彩に行なわれた。

## 記

5月28日 全学集会、仮装行列、バーベキュー、フォークダンス、ファイアーストーム、駆伝マラソン

5月29日 講演会（「今日の大学における科学技術教育の現状と今後の課題」伏見康治氏、「世界情勢について」外人講師、「精神薄弱とは」F. I. W. C.、「旅の心」足立原氏）、スピーチコンテスト、パネルディスカッション「大学とは何か」、映画会（「裸で狼の群のなかに」生協）、シンポジウム（「大学革新とは何か」現代の理論研究会、「東南アジアと国連」I. S. A.、「戦後日本史の研究」社会科学研究会）、茶会（茶道部）、映画会（「能登路、加賀路」地理研究会）、文学講演及び討論会（上野助教授、1年経Cクラス）、歌声喫茶（ユネスコクラブ）

5月30日 各自治会シンポジウム（「一般教養制度の改善」

一般教育、「カリキュラムを検討する」薬友会、「教育系ゼミナールとは何か」五十嵐顕氏、教育学部学生会、「カリキュラムの再検討」経済学部自治会）、講演会（「見つめようアジアの現実を」務合理作氏、ユネスコ）、茶会（茶道部）、放送劇及び録音講成合評会（「越中麦屋節」放送研究会）、謡曲発表会（謡曲鶴世会）、フォークダンスパーティ（フォークダンスクラブ）、法・経ゼミナール（経済ゼミナール協議会）、討論会（化工、理Ⅰ）、映画会（「精神薄弱とは」F.I.W.C、「初の宇宙遊泳に成功したジエミニ4号の記録映画」他、天文同好会）、合同研究発表会（「県下の米騒動について」他、歴史研究会）

5月31日 合唱コンクール（一般教育自治会）、ロシア民謡（イヨールカ）、落語、フィールハーモニー、混声合唱、ギターマンドリン、創作舞踊、M.M.S、講演会（「現代社会と大学の役割」水田洋氏）

6月1日 全学運動会（体育会）

6月2日 講演会（「平和共存とヴェトナム戦争」池山重朗氏、全学シンポジウム（「問いかえそう大学とは何んだ」—新しい大学像を求めて—）、ダンスパーティ、演劇（「悲劇の王女<アンチゴヌ>」劇団ふだい）、公開講座（「現代におけるジャーナリズムの役割」赤井直恭氏、新聞会）

5月29日～6月2日展示会（美術、書道、写真、地理研、ユース、薬友会、中研）

大学祭期間中 雑誌発行（大学白書、総合雑誌「氾濫」、文2機関誌「獺」、映研機関誌大学祭特大号）

### 附属小学校竣工式

教育学部附属小学校の新築工事は、昨年8月から総工費7,920余万円をかけて行なわれていたが、このたびその竣工が成り、4月2日午前10時から同小学校体育館において竣工式が行なわれた。

新築なった附属小学校は、鉄筋コンクリート造り3階建てで一部管理棟のみ平屋建になっており延平平方米2,631㎡673ある。又、別棟に鉄骨造り平屋建のボイラー室も併せて新築され、今冬からの全館暖房も完備された。

### 北信地区国立大学図書館協議会

第16回北信地区国立大学附属図書館協議会が5月12・13の両日本学を会場として開催された。

参加者は、本学、新潟大、信州大、金沢大、福井大の館長、分館長、事務長等50余名（本省より情報図書館課学術情報係長外1名特別参加）で「当面する大学図書館の諸問題」を協議して全国館長会議提案事項を決定したほか図書館業務に関する承合事項の討議、図書館職員の研究発表を

行ない。2日目の午後から天然記念物埋林、吉田ファスナー工場を見学して日程を終了した。

### 故黒田善太郎翁追悼法要

黒田講堂の寄贈を受け本学とともに深いつながりのあつた黒田善太郎翁は、去る3月27日その死を惜しまれて他界されたが、5月23日午後1時から富山県及び富山市主催、本学等協賛となつて同講堂で追悼法要がしめやかにいとなまれた。

翁は、富市名譽市民でありコクヨ株式会社社長として晩年を過ごされたが、日本の洋式帳簿の草分けとして帳簿の製造、発展につくされたことは広く知られている。

### 日本薬学大会開催

第22回日本薬学大会は4月6日から8日まで3日間の日程で、全国から関係者約5,000人が参加して、本学、富山市公会堂両会場で行なわれた。

富山での大会は、大正5年旧富山薬専で開かれて以来51年ぶりのことで、昭和33年の富山国体をうまわまる県外人が集まるとして、富山県、市民あげての歓迎体制となるなど盛大に催され、薬都富山での同大会の成果は大いにあがった。

大会日程は次のとおり

第1日 第22回日本薬学大会総会、日本薬学会第86回通常総会、日本薬学会賞贈呈式、会頭講演「Thiamineおよびその誘導体の活性と代謝」大阪大学川崎近太郎氏、公衆衛生協議会、薬史学学会女子薬剤師部会、全国病院薬剤部長会議、薬剤学、製剤学部会、特別講演（「富山家庭薬の経営史」富山大学植村元覚氏<薬史学部会>、

「処方薬の薬理的解釈」東京大学高木敬次郎氏<女子薬剤師部会>、「環境と発ガン」国立衛生試験所石館守三氏<日本薬剤師会総会>、「最近の医薬品に見られる薬剤学の進歩」東京大学野上寿氏<総合講演>、「富山県の開発」富山県知事吉田実氏<大会講演>）

第2日 衛生化学、公衆衛生部会、開局薬剤師部会、保健所薬剤師部会、病院薬局管理部会、薬剤学・製薬学部会、各部会シンポジウム（「有害性金属について」衛生化学・公衆衛生部会、「生薬製剤に関する諸問題」、「女子薬剤師の職域におけるあり方」女子薬剤師部会、「中小薬局の生きる道」開局薬剤師部会、「薬局等の適配条例をめぐる諸問題」保健所薬剤師部会、「病院薬局の環境衛生」病院薬局管理部会）、薬学文献ガイド「和漢薬研究と和漢古典」、パネル

「富山県薬局の今後のあり方」開局薬剤師部会、特別講演（「薬価基準に関する問題点」日本製薬団体連合会保険薬価研究会委員長岩城徹氏＜開局薬剤師部会＞、「今後の薬局経営の問題点」京都能率協会水野鉄蔵氏＜ 〃 ＞、「富山配置家庭薬の歴史について」富山県家庭薬剤師会石黒七三氏＜保健所薬剤師部会＞）、懇親会（富山市体育館）

第3日 衛生化学・公衆衛生部会、学校薬剤師部会、薬剤学・製剤学部会、シンポジウム「全身適用を目的とした坐剤」薬剤学・製剤学部会、特別講演「公害と水銀」東京大学浮田忠之進氏＜学校薬剤師部会、閉会式

なお期間中医薬品（富山市公会堂）、薬科機器・食品添加物・試薬・書籍（黒田講堂）などの展示が行なわれ、また本大会協賛行事として富山くすりの資料展（富山市郷土博物館）がひらかれた。

### 谷岡静雄事務長の逝去

経営短期大学部谷岡静雄事務長は、肝臓ガンのため、6月25日富山市民病院で永眠された。

事務長は、大正11年射水郡小杉尋常高等小学校高等科を卒業後、郷里に近い大江村信用購売組合に書記として勤めていたが、昭和3年徴兵として歩兵第35連隊に入隊、同年仙台陸軍教導学校に入校、翌4年同校を卒業した。以後上海、塘沽、フランス、インド、タイ、ビルマ方面に配属されるなかで14年叙勲六等授瑞宝章、15年叙勲六等授単光旭日章。終戦後第1復員省事務官、富山県教育民生部主事を経て富山師範学校に勤務、26年同校の課程が廃止されるとともに富山大学教育学部に配置換、32年同学部庶務係長に昇任、35年庶務課人事係長に配置換、38年庶務課課長補佐に昇任、39年経営短期大学部事務長に配置換今日に至った。富山県出身で享年58才であった。

なお、生前の功績を称え6月25日付けで、正七位に叙し併せて勲五等に叙せられ瑞宝章を授与された。

### 職員消息

＜新任者＞

庶務課

事務員 堀 利秋

事務補佐員 竹内香津子

〃 中村 和子

施設課

技術員 佐伯 信男

学生課

事務員 細野 功

〃 麻生 友治

作業員 松丘 健治

〃 高島 仙次

臨時用務員 角田 久雄

〃 村中 晴治

厚生課

臨時用務員 田村 吉昭

文学部

事務補佐員 坂本智恵子

教育学部

講師 小西 照泰

〃 相馬 恒雄

〃 中田 三郎

助手 福田 明夫

教諭 川腰 巍

〃 村田 正義

〃 五十里満義

〃 木本 武男

事務員 山ノ下裕一

運転手 田嶋 毅

臨時用務員 山口 雄啓

〃 堀田吉太郎

経済学部

講師 山口 泰光

薬学部

助手 安立 準

教務員 山田 道子

〃 塩田 和子

薬務手 高見 春男

工学部

教務員 水谷 一樹

〃 野村 弘明

〃 穴田 博

〃 杉山 毅

〃 清水 優子

〃 坂井 徹

事務員 雁田 彰

〃 山本 悦子

技術員 谷口 泰一

〃 室谷 和雄

〃 渡辺 秀一

ガラス工 藤岡 和典

事務補佐員 牧 洋子



〃 高見香司子  
 〃 荒木美登里  
 技術補佐員 池永 都  
 <改 姓>  
 会 計 課 丘山 昇 (旧姓・笠原)  
 教育学部 平野美智子 (〃・河崎)  
 工 学 部 松谷 和子 (〃・坂下)

<住所変更>  
 庶 務 課  
 事務官 平野 茂良  
 会 計 課  
 事務官 中村 邦夫  
 〃 柴田富美枝  
 警務員 佐藤 恵作  
 施 設 課  
 技 官 高田 勝春  
 文 理 学 部  
 助教授 永原 茂

〃 山本 篤司  
 教育学部  
 助教授 白井 芳朗  
 〃 藤井 敏孝  
 講 師 中田 三郎  
 事務官 平野美智子

薬 学 部  
 助 手 岡田 竹史  
 技 官 塚越 章司  
 工 学 部  
 教務員 水谷 一樹  
 事務官 鍋木 隆二  
 技能員 佐野 輝治

<住所地名・住居表示変更>  
 教育学部  
 事務官 桜井 雅楽  
 工 学 部  
 助 手 新井 甲一

主 要 日 誌

本 部

4月1日～9日 入学手続き  
 2日 教育学部附属小学校竣工式  
 〃 後援会役員会  
 4日 経済学専攻科入学試験  
 6日 新規採用職員研修

〃 全国公務員R共同事業富山地区運営委員会  
 〃 〃 卓球大会  
 9日 入学式  
 〃 後援会総会  
 11日 経済学専攻科合格発表  
 〃 教育専攻科入学式  
 12日 大学院薬学研究科入学式  
 〃 計算センター運営委員会  
 〃 国立学校施設担当部課長会議  
 13日 昭和41年度工事務行事務打合せ (名古屋工事事務所)  
 14日 国大協学生問題に関する委員会 (学士会館)  
 14・15日 国立学校施設台帳および実態調査等作成の地区説明会  
 15日 学寮補導委員会  
 19・20日 東海北陸地区国立学校等会計部課長会議 (金沢大)  
 20日 学部長懇談会  
 23日 育英友の会総会  
 26日 本学職員R文化部会  
 26～28日 昭和41年度国立大学施設講習会 (東京大)  
 28日 会計係長会議  
 5月6日 評議会 (第2回)  
 〃 定期健康診断及びX線間接撮影  
 7・8日 北陸3大学事務局交歓野球大会  
 9・10日 国立大学事務局長会議 (虎ノ門会館)  
 10日 東海北陸地区補導厚生研修会運営委員会 (福井大)  
 11～14日 施設部課長会議  
 12・13日 国立学校施設担当部課長会議 (全共連ビル)  
 〃 工学部事務協議会 (名古屋大)  
 〃 北信地区国立大学附属図書館協議会  
 14日 北陸3大学学生体育競技連盟協議会 (金沢大)  
 15日 教育学部附属学校運動会  
 16日 昭和41年度科学教育研究室入室式  
 〃 部局長懇談会  
 17日 事務協議会  
 19日 放射性同位元素総合実験室運営委員会  
 〃 全国公務員R共同事業富山地区常任委員会 (北陸電波)  
 20日 事務協議会  
 19・20日 第30回東海北陸地区国立大学学生部課長会議 (三重大)  
 23日 故黒田善太郎翁追悼法会 (黒田講堂)  
 23・24日 国立大学及び所轄機関等庶務部課長会議 (一橋大)  
 23～27日 昭和41年度全国大学初任部課長研修 (国立教育会館)



- 24日 会計係長会議  
 25日 入学者選抜方法研究委員会  
 26・27日 国立学校会計部課長会議（一橋大）  
 28日 補導協議会  
 28～6月2日 大学祭  
 30・31日 建築工事共通仕様書改訂説明会（大阪学芸大）  
 31日 本学開学記念日  
 ♪ 永年勤続者感謝状贈呈式  
 6月2日 認定講習委員会（富山荘）  
 ♪ 昭和42年慶大学入学者選抜実施要項趣旨徹底協議会（京大）  
 ♪ 人事院規則10-4＜職員の保護及び安全保持＞説明会（金沢合同庁舎）  
 4日 補導協議会と学寮補導委員会との合同委員会  
 6日 一般教育審議会  
 8日 国大協・学生問題特別委員会（東京大）  
 9日 X線直接撮影  
 ♪ 文理改組ヒアリング（文部省）  
 10日 評議会（第3回）  
 11日 事務協議会（第4回）  
 ♪ 昭和41年度第2回日本学術会議中部地方区会議（静岡大）  
 13～17日 国立大学初任部課長研修（国立教育会館）  
 14日 文部省共済組合支部実地監査  
 15・16日 薬学系6大学事務局長会議（徳島大）  
 16～18日 後援会会員研修（名古屋）  
 20日 職業補導担当者会議  
 ♪ 国大協・第3常置委員会（東京大）  
 21日 学生会館運営委員会  
 ♪ 国立大学長会議（国立教育会館）  
 22日 腸パラチフス予防注射  
 22・23日 国大協・第37回総会、日本学術会議  
 24日 補導協議会  
 ♪ 教育学部附属小、中学校学力テスト  
 ♪ 国大協・事務連絡会議、日本学術会議  
 24・25日 文理学部改組ヒアリング（国立教育会館）  
 25日 中部地区学生補導厚生研究集会第10回総会（神戸大）  
 ♪ 日本薬学会北陸支部第22回国例会  
 ♪ 昭和41年度第16回北陸3県大学学生交歓芸術祭運営委員会（金沢大）  
 27日 入学試験管理委員会（第1回）  
 27・28日 図書館研究集会（岡山大）  
 28・29日 全国々立大学図書館長会議（岡山大）

### 文理学部

- 4月16日 異動職員歓送迎会

- 11日 学部オリエンテーション  
 12日 一般教育オリエンテーション  
 13日 前期授業開始  
 20日 学部補導委員会  
 ♪ 教授会  
 ♪ 人事教授会  
 22日 文理学部同窓会理事会  
 ♪ 理学科教官会議  
 5月4日 学部改組委員会  
 7日 文理学部同窓会エクスカッション（二上山へ）  
 11・12日 全国文理学部長連絡協議会及び同事務長事務協議会（愛媛大）  
 16日 学部改組委員会  
 18日 教授会  
 ♪ 人事教授会  
 ♪ X線間接撮影実施  
 25日 学部改組委員会  
 6月1日 学部改組委員会（学長、局長出席）  
 8日 腸パラチフス予防注射実施  
 11日 富山県数学教育会総会  
 14日 教授会（学長出席）  
 17日 教授会  
 21・22日 数学講演（ミネソタ大学教授 ウィリアム・A・ハリス氏講演）  
 25日 学部改組委員会  
 29日 一般定期健康診断実施  
 ♪ 文学科懇話会（毛利勉教官の研究発表「禪籍に於ける句法」を中心として）

### 教育学部

- 4月2日 附属小学校竣工式  
 6日 人事教授会  
 ♪ 選考委員会  
 8日 補導委員会  
 11日 教育専攻科入学式  
 ♪ 新入生へのオリエンテーション  
 ♪ 新入生健康診断  
 13日 予算委員会  
 20日 教授会  
 ♪ 人事教授会  
 ♪ 教務委員会  
 ♪ 補導委員会  
 22日 予算委員会  
 ♪ 選考委員会  
 26日 予算委員会  
 27日 教授会  
 ♪ 人事教授会

- 〃 大学問題対策委員会
- 5月9日 職業補導委員会
- 13日 予算委員会
- 〃 教務委員会
- 16日 教育実習（高等学校）打合会
- 18日 教授会
- 〃 教務委員会
- 19日 補導委員会
- 20日 予算委員会
- 27日 予算委員会
- 〃 教務委員会
- 30日 人事教授会
- 〃 補導委員会
- 6月1日 教授会
- 〃 予算委員会
- 8日 教授会
- 〃 予算委員会
- 〃 拡大教務委員会
- 〃 学部紀要編集委員会
- 〃 呉山会役員会
- 16日 補導委員会
- 22日 昭和41年度定期健康診断並びに腸パラチフス予防注射
- 23日 補導委員会

**経済学部**

- 4月4日 選考委員会
- 11日 新入学生オリエンテーション
- 〃 教務委員会
- 12日 常任委員会
- 13日 職業補導委員会
- 14日 選考委員会
- 〃 人事教授会
- 〃 教授会（第1回）
- 21日 職業補導委員会
- 28日 教授会（第2回）
- 〃 人事教授会
- 5月19日 教授会（第3回）
- 〃 職業補導委員会
- 20日 人事教授会
- 23日 選考委員会
- 25日 選考委員会
- 26日 教授会（第4回）
- 〃 職業補導委員会
- 6月3・4日 国立10大学経済学部長及び同事務長会議（長崎大）
- 4日 越嶺会総会

- 6日 選考委員会
- 9日 教授会（第5回）
- 〃 人事教授会
- 〃 職業補導委員会
- 10日 選考委員会
- 〃 職業補導委員会
- 13日 選考委員会
- 14日 選考委員会
- 16日 職業補導委員会
- 20日 選考委員会
- 21日 人事教授会
- 〃 選考委員会
- 23日 教授会（第6回）
- 〃 教務委員会
- 〃 職業補導委員会
- 25日 教授会（第7回）
- 30日 選考委員会
- 〃 職業補導委員会

**薬学部**

- 4月1日 資料館竣工披露
- 6～8日 第22回日本薬学大会
- 11日 新入学生オリエンテーション
- 12日 大学院薬学研究科入学式
- 〃 教授会
- 13日 授業開始
- 5月12日 教授会
- 〃 教官と学生（3年次）との懇談会
- 26日 教授会
- 〃 職業補導委員会
- 27日 定期健康診断（X線間接撮影）
- 6月8日 教授会
- 〃 研究科委員会
- 〃 腸パラチフス予防注射、4年次健康診断
- 〃 国立新制6大学薬学部長会議（熱海）
- 8日 国立大学薬学部（科）長会議（熱海）
- 〃 国公立薬科大学（部・科）長会議（熱海）
- 〃 全国薬科大学（部・科）長会議（熱海）
- 10日 富山県薬業連合会一行60名見学
- 25日 日本薬学会北陸支部第22回例会

**工学部**

- 4月11日 新入学生オリエンテーション及び健康診断
- 〃 教授会
- 5月11日 教授会及び専任教授会
- 13日 学生及び職員とのX線間接撮影、腸パラチフス予防注射

- 18日 学部補導委員会  
 25日 学生定期健康診断  
 6月1日 教授会及び専任教授会  
 15日 学部補導委員会  
 18・19日 工学部レクリエーション（奥能登一周）

#### 附属図書館

- 4月13日 新学期時間外開館開始  
 14日 事務打合会（第1回）  
 18日 県図書館協会研修会（県立図書館）  
 19日 図書館商議会（第1回）  
 25・26日 館長会議第1回準備委員会（東京大）  
 28日 県図書館協会理事会（県立図書館）  
 5月6日 事務打合会（第2回）  
 11日 事務打合会（第3回）  
 12・13日 第16回北信地区国立大学附属図書館協議会  
 16日 事務打合会（4回）  
 27日 県図書館協会定期総会（高岡市立図書館）  
 6月10日 事務打合会（第5回）  
 20～30日 図書館業務初任者講習会（県立図書館）  
 27～29日 昭和41年度全国々立大学図書館研究集会並  
 びに第13次全国々立大学附属図書館会議（岡山大）

#### 経営短期大学部

- 4月9日 第8回入学式  
 11日 前学期授業開始  
 ♪ 入学者歓迎会  
 14日 体育オリエンテーション  
 16日 経済学部・経営短期大学部合同委員会  
 19日 教官会議  
 26日 教官会議  
 5月9日 教官会議  
 13日 後援会会計検査  
 19日 教官会議  
 26日 後援会総会（学生会館）  
 30日 定期健康診断、休講  
 31日 開学記念日、休講  
 6月2日 谷岡事務長入院  
 12日 ワンゲル、ドライブ（能登）  
 16日 有田局長、短期事務長事務代理に命ぜられる  
 25日 谷岡事務長逝去  
 ♪ 有田局長、短大事務長事務取扱に命ぜられる  
 26日 故谷岡静雄氏告別式（自宅）  
 29日 教官会議

印刷所 昭和印刷株式会社

